



映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

4 組 39 番 名前 山本陽菜

【映画】

ナディアの誓い — On Her Shoulders

【レビュー】 “活動家たちの本音”

世界中には、人権尊重や世界平和を求めて活動する活動家が数え切れないほど存在します。私は今までその活動家たちをただ「凄いな」と尊敬しているばかりでしたが、偶然出会ったこの一作の映画を通して、彼らの見方を大きく変えさせられました。

まずこの作品で驚いたのが、主人公のナディアという女性がわずか23歳、高校生の私達と10歳の差もないということです。そんな彼女も、イスラム勢力に村を襲われ、性奴隷にされ、母や兄弟を殺されていなければごく普通の女性でした。作品中でも、活動家として世界中を回り、スピーチをしたりインタビューを受けたりする姿と、活動の合間に写真撮影や観光、買い物を楽しんだりする普通の女性としての姿が交互に映り、彼女が本来は普通の女性でいたい願っているのにも関わらず、完全にはそれが叶わないということを知り、私達は毎日普通に学校に通って授業を受けることのできるのにも関わらず、同じ若者でも家族と一緒に生活することが叶わぬ、毎日苦しい経験を世界に伝えていかなければいけない人がいることを改めて知り、胸が痛くなりました。

もう一つこの作品で印象に残ったのは、世界各地のメディアからのインタビューに対するナディアの思いです。誰からどのインタビューでも、彼女は「家族が殺されてどう思ったか」、「これからどうしたいか」など、彼女本人について迫られていました。私もこの映画を観ていながら、たら、彼女にそんな質問をしてしまっていたと思います。ところが彼女は「そんな事を聞いてほしいのではない。今私の村はどうなっているのか、どれだけの女性が現在もとらわれているのか、それを聞いてほしい」と静かに訴えました。作品中で、カナダで買っていた大量のオモちゃも、難民キャンプの子どもたちの為のものでした。彼女は自分も犠牲になった自分の家族の為だけでなく、村の為、自分と同じように苦しんでいる人々の為に活動を続けているのだと実感しました。

最後に、国連総会での代表スピーチを終えたナディアは「自分のような活動家が、必要な世界を目指して、私は活動を続ける」と述べていました。確かに彼女のような活動家たちは勇気や強い信念を持っており、私達が尊敬すべき人です。しかし、そのような活動家たちがいるということは、同時に世界のどこかで苦しんでいる人がいることを意味します。活動家たちの本音がわかる映画です。

5組 7番 名前 (長) 田 遥 那

【映画】

ナディアの誓い

【レビュー】

「自分は難民だ」



私はナディアアさんを見て、みんなに悲しもうに笑う人を初めて知った。ナディアアに訴え続ける惨事、辛すぎる体験。私はナディアアさんの悲しみの一面しか見えていません。しかし、ナディアアさんはこれらすべてを背負って、それでも尚前を向いているのです。

村の娘が伝え続ける大きな悲しみ
〈感想〉

あらすじ
二〇一四年八月まではイラクの村に幸せに暮らしていたナディアアは、ISISによるヤジディ教徒への虐殺により、一変する。ナディアアは彼女の体験を世界へ伝えるために戦っている。

SDGs カテゴリー



- 5. ジェンダー平等を實現しよう
- 16. 平和と公正をすべての人に
- 17. パートナーシップで目標を達成しよう

ISISとは
イラクとシリアで発生した、イスラム過激派組織。イスラム教とも呼ばれる。

ヤジディ教徒とは
イスラム教、キリスト教、拝火教などの多くの宗教が混じり合ったような宗教。イスラム教徒が多いイラクでは、「邪教」として扱われてきた。

私にはその姿に心を打たれました。多くのメディアもその姿に注目してはくす。しかし、世界は全然変わっていません。少しは変わっているのかも思いますが、教団には変わりません。世界はなぜ変わらないうのか。私ももどろろして男女差別が生まされたのか。人々に優劣をつけてしまったのか。人々の考え方の根本をやりかたがわり変えたい。歴史はついに知りた